

月刊反トマホーク通信

No. 18
87.4.20
定価 100円

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎ 03(498)6095



海の軍備撤廃をめざす国際ウイークエンド

一九八五年六月十五～十七日、一九八六年六月二十七～二十九日に続く三回目です。

アメリカの新しい海洋戦略によってひき起されたつづあるさまざまな軍事的エスカレーションに對して、「海を戦争のために使うな」「海洋戦略にもっと人々の関心を！」と、世界的な行動の呼びかけが行われてきました。具体的な課題は、それぞれの国にふさわしいものを設定します。「トマホーク配備反対」「アメリカのリビア爆撃に抗議」、「ニュージャージー寄港反対」、「ミスリリ母港化反対」、「フィリピンの米軍基地撤去」、「海洋戦略のための通信基地撤去」などなどです。今年は、NAN(北大西洋ネットワーク)のスコットランドCNDが連絡センターとなり、大西洋、太平洋、地中海、インド洋でのとり組みが計画されています。

この日、世界の海は民衆の反戦・反核の声を結びます。

トマホークの配備を許さず！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1日 2000円
個人 1日 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1日 1000円
個人 1日 500円

●通信会員

年間 2000円

あなたも仲間に！

「密約」と「非核の土俵」

核をめぐって、この国と米国の支配者たちのあいだで交わされてきた「密約」の存在をだれももう否定できない。

四月十一日、共産党が暴露した一九六六年

かのように「ロングビーチ」と「レインジャー」は佐世保にはいった。

思によって支えられた自治体、なかでも艦船を受入れる自治体の姿勢と動向であることを、私たちは知ってきた。

*

*

*

*

「核抑止」の重要な柱に、「プレゼンスの誇示」=「に核があるぞと宣言する」と

に関する日本と米国との秘密取決めの存在をはつきりみとめている。そこでは「持込み」と「一時通過」(トランジット)は区別され、

後者については日米安保条約に基づく事前協議の対象からは除外されていることは疑う余地がない。

日本政府は七四年のラロック退役海軍少将特の議会証言、八一年のライシャワー元駐日大使の発言を「一私人の発言」と退けてきたが、その論法が何時まで通用すると考えているのだろうか。

日本政府は七四年のラロック退役海軍少将特の議会証言、八一年のライシャワー元駐日大使の発言を「一私人の発言」と退けてきたが、その論法が何時まで通用すると考えているのだろうか。

日本政府は七四年のラロック退役海軍少将特の議会証言、八一年のライシャワー元駐日大使の発言を「一私人の発言」と退けてきたが、その論法が何時まで通用すると考えているのだろうか。

「自治体」にしつらえられた「非核の土俵」は、おそらく私たちの想像する以上に頗もしく支配者たちの目論みの前に立ちはだかっている。そして、その「真価」がいよいよ正面から問われているのが今なのではないか。

「非核コード」(核の有無についての客観的自主的判断基準)を持つた自治体が、それをもとに核艦船を拒否する。これを実現できるかどうかが状況をこじあけるカギ。そして、「カギを握っているのは人々ーあなたーであり、わたし。

「非核」のチャンスはある。私たちの暮らしのあしもとに確かに、ある。(田巻一彦)

もういい加減に核持ち込みを正面きつて認めたらどうだという圧力は、今後も強まりこそれ、弱まることはないだろう。

ところが、日本政府はだからといって、すぐさま、はいわかりましたとは言えない。「事前協議」の無いことをただひとつの掲り所とした「非核の証明」の仮面をかなぐりすぐさま、はいわかりましたとは言えない。

「非核」のチャンスはある。私たちの暮らしのあしもとに確かに、ある。(田巻一彦)

もういい加減に核持ち込みを正面きつて認めたらどうだという圧力は、今後も強まりこそれ、弱まることはないだろう。

ところが、日本政府はだからといって、すぐさま、はいわかりましたとは言えない。

「非核」のチャンスはある。私たちの暮らしのあしもとに確かに、ある。(田巻一彦)

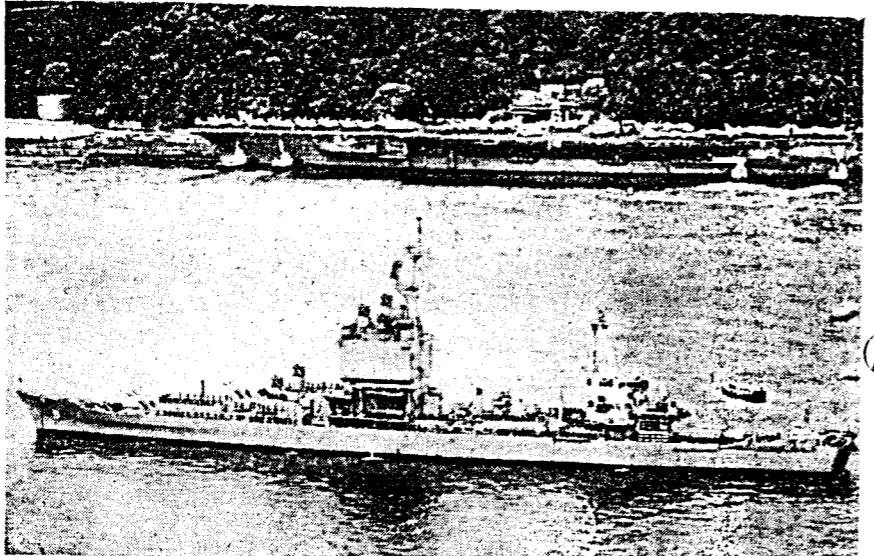
もういい加減に核持ち込みを正面きつて認めたらどうだという圧力は、今後も強まりこそれ、弱まることはないだろう。

ところが、日本政府はだからといって、すぐさま、はいわかりましたとは言えない。

「非核」のチャンスはある。私たちの暮らしのあしもとに確かに、ある。(田巻一彦)

核トマホーク搭載艦

佐世保にロングビーチが入港!(4.10)



佐世保港に入港した米巡洋艦ロングビーチ(手前)と米空母レンジャー
=10日午前9時、共同通信ヘリから=

●四月十日、原子力ミサイル巡洋艦ロングビーチが空母レンジャー機動部隊の一員として佐世保に入港した。

各地から

昨年八月横須賀以来の日本寄港、佐世保には初めて。繰返すまでもない。核トマホーク搭載艦だ。当日市内で開かれた統一地方選に向けた決起集会は入港抗議集会ともなった。佐世保市長は外務省に「核兵器の持ち込みが絶対に無いよう」申入れた。「反トマホーク全国運動」は同市長に入港拒否の要請文を送り、各地からもハガキや電報が寄せられた。ちなみに、入港のニュース、首都圏ではついに一度も報道されなかつた。

情報提供
佐世保軍問研

佐世保港に入港した米巡洋艦ロングビーチ(手前)と米空母レンジャー
=10日午前9時、共同通信ヘリから=

●四月十日、原子力ミサイル巡洋艦ロングビーチが空母レンジャー機動部隊の一員として佐世保に入港した。

昨年八月横須賀以来の日本寄港、佐世保には初めて。繰返すまでもない。核トマホーク搭載艦だ。当日市内で開かれた統一地方選に向けた決起集会は入港抗議集会ともなった。佐世保市長は外務省に「核兵器の持ち込みが絶対に無いよう」申入れた。「反トマホーク全国運動」は同市長に入港拒否の要請文を送り、各地からもハガキや電報が寄せられた。ちなみに、入港のニュース、首都圏ではついに一度も報道されなかつた。

佐世保港に入港した米巡洋艦ロングビーチ(手前)と米空母レンジャー
=10日午前9時、共同通信ヘリから=

米空母部隊が寄港

米韓合同演習参加

佐世保、核疑惑の口号も

【佐世保】米海軍第七艦隊第一空母戦闘部隊(CBG)の中核艦、通常型空母レンジャー(CV-41)、O.O.O.O.、W・デービス艦長(約五千人乗り組み)と原子力巡洋艦ロングビーチ(CV-5、四〇六、M・J・ヴィニガー艦長(千九百人乗り組み)が十日前、フリゲート艦一隻を伴って相次ぎ佐世保に寄港。灰色の巨体を港内に浮かべた。

レ号は午前七時前、港口の一雄華会長が歓迎の言葉を述べ、佐世保市などが戦闘部隊員全員による例の登艦(けい)式を行なった。登艦(けい)式は午前七時五十分前、向後崎を通過。同じく、登艦(けい)式は午前八時四十分、海自音楽隊の出迎え演奏の中、赤崎岸壁に接岸した。ロ号は午前九時前、港奥部の一號ブイに係留した。ロ号は午前七時五十分前、向後崎を通過。同じく、登艦(けい)式は午前八時四十分、海自音楽隊の出迎え演奏の中、赤崎岸壁に接岸した。ロ号は午前九時前、港奥部の一號ブイに係留した。

レ号艦内では早速、佐世保日米協会など関係者約百人が出席して歓迎セレモニー。

米海軍佐世保基地のパークハースト司令官や同協会の草永

ピリット87)に中核艦として

ク搭載可能な、核疑惑水上

在を認めた。

は間違いなく人々の意思。そして、人々の意

思によって支えられた自治体、なかでも艦船

を受入れる自治体の姿勢と動向であることを、

私たちは知ってきた。

は間違いなく人々の意思。そして、人々の意

思によって支えられた自治体、なかでも艦船

を受入れる自治体の姿勢と動向であることを、

私たちは知ってきた。

沖縄米基地の補償金で攻防

主 地を わったと防衛施設局の大連部を 調査官は嘆う。が、一方で 申 「炸弹はまだここにせ るらうのか。クビをかねても 五月と四月までに補金を払い 続わる」と決意のほどをみせ る。法務省 交通部防衛施設局長も「人海戦術で臨む」と語る。同課長のほか、全国十一 の防衛施設局と支局約五百五十 人が、この期間だけ那須防衛施設局員兼務の命令を受けた。

東北地方のある会社に今月中 旬、「那須防衛施設局会計課出 納員(機関防衛施設局駐在)」 と名乗る一人が一等地主を訪ねて現れた。

「補償金を持参しましたので、受け取っていただきたいと 思います」

「裁決書は読みましたが、内 容がよくわからぬ。本土では 一度も賠取用の公開審理がな かった。質問したいのですが、 私もおも、答える立場があ

全国に住む2000人に 現金を持参して説得

主のかかる供託に心じた鉢木さん、かかるに、施設局員はほつとした。開拓場に払い終え、無事に附するなら、基地の懸念ができても、十年後じかに開拓には同じ手綱きが待つていいことばかりでない。実食祭天・防衛施設局長官は、一月後にも一郎選手がある地主の中に、やがていただおもつぶやんは、外國移住した人がいる。り、地主が減ることはない。亡アメリカ、韓国、なれば、遺産に相続され、一國、アーノー坪地主さへに増ええる。

ク。一月後から、裁決書に記されている「四二」は、那爾防衛施設局は、日本に住む人、六、四、五四、五一、一円、五少の代理入を指定して貰おむるか。一〇日……」並る賃金額を勧めかけてるが、周囲をうかうかは進んでござんじよ。

二十四日付で、沖縄県知事、大坂町豊中市に住む坪地主のことは、愛顧されず度つたえ難い者（いよいよ）千後、二十年後決済八百敷通分を點前請ひには私生きていないと承、十三日除く。防衛施設局は、同十二年間、撥されることはなめを示板に県公報に公示した。このて訴えた。

基層分について防衛施設局が特権私いであるが、二十日後の四月の米軍基地用地は沖縄以來五、十二年間、防衛施設局は、同十二年間、撥されることはなめを示板に県公報に公示した。このて訴えた。

取用手続きが終わると、沖縄

5月14日までに手渡さねば土地使えない

事をもらってから、補償金を受
けるか決めたいのですが」
「次回は日曜日に来ます。そ
れで三回目ですから、たとえ留
保の八年でもお守りがある。
米沢駅から新潟駅へ抜け
る高鉄新潟駅から、さう
に歩き三回訪れ、その後、供託
金を返す約束をした。四月十三
日から三回訪れ、その後、供託
金を返す約束をした。五月
の手配を怠るとなると、五月
十四日ギリギリになる。最後

反対する東京集会」
* 5月15日 午後 六時半から八時
八時からデモ
* 会場 三河原公園（東京六本木）
* 主催 沖縄一坪反戦地主会・関東B

第四回沖縄一坪反戦ツアーリ

〔問合わせ・連絡先〕
沖縄反戦地主会・関東ブロック事務局
東京都北区上十条3-1-29-1
大林ビル三〇一
803(905)一五七九
(火・木の夜)

、大体二人ペアで徘徊している。沖縄米重地の強制使用の最終手続きとして、十年間の損失補償金を手渡しに来るのである。去二月二十四日、沖縄県収用委員会が出た十二月間強制使用の裁決書を受取った地主からしめ潰しに回っているのだ。その裁決書の通を受取った人に聞くと、最初は、海邦国体案内状か何かが届いたと思ったそうだ。沖縄県は今、海邦国体の成功の為にのみ行政をしているらしい。県の封筒の半分以上のスペースは海邦国体のマークと標語で埋められてる。開けてピックリ玉手箱。數十ページの厚い裁決書が出て来てほんどの人がまだ

支払い手続きを終わらせないと、せっかく廻りきりの
収用委員会が無理矢理出した裁決が無効にな
ってしまうのだ。彼等が焦るのは無理もない
一坪反戦池主は全国に約二千人もいる。しか
し、正確に言えば、日本だけではなく、韓国や
デンマーク、アメリカにもいる。それらの人
々に対しても、防衛施設局は国際電話を何度も
かけ、「代理人を指定してくれ」とか「補償
金を受取ってくれ」と懇請してきた。その中
の韓国に住んでいた女性には委任状の書状を
送ってきて代理人を指定するところまできた
にもかかわらず、その女性が依頼した沖縄在
住の牧師は正しくも断わってきたのである。

“安保”が
我が家に
やって来る――

沖縄一坪反戦地主の斗い

大田武一（沖縄坪反戦地主会関東プロツク事務局）

いかに結びあえるか?』等の具体的テーマにより標を設定して活動をすすめている。

「八七年の反戦・反核を語ろう! 二・二集会」は、そうした活動をすすめるにあたって、反基地運動の具体的経験を学ぼう、といふ問題意識をもって行われた。その意味では、横須賀の新倉さんの集会での話—横須賀での反戦・反核運動の経験—は、貴重なものであった。

五月には依佐美墓地で

各地から
参加し帰投中のF-4Sファントム（岩国基地所属）が広島県の中國山地にスパローミサイルを落とすという事故を起した。この事件は

争と高揚する韓国民衆の騒ぎにどう連帯していくのかを問い合わせ、盛り上がりに欠ける日韓連帯運動の現実を直視しながら、身近に存在する基地の問題と組み合わせて考え、さらにヒロシマを問い合わせてこうとした集会だった。

チームスピリットが日本をぬきにしては成り立たない演習であり、日本が米核戦略体制に組みこまれてゐる現実を再認識させた。この集会を一つのステップとして、韓国一岩国一呉一広島という問題の視点をさらに発展させ運動を抜けしていくよう頑張りたい。

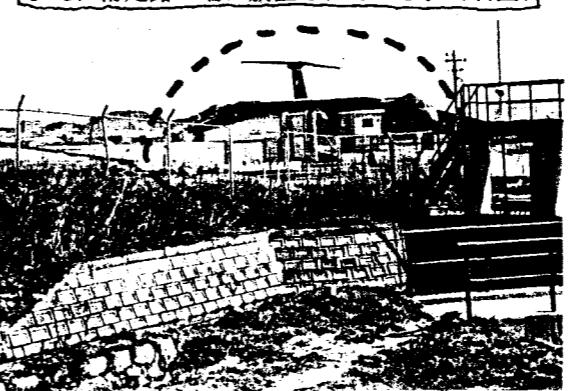
上瀬谷のウドの会、横須賀の市民グループのとりくみに励まされながら、五・三一行動を成功させたいと願うものである。共にがんばりましょう。



かと思う。もっとも人間に對しての嘘と國家の
権力とか安保とかに對しての嘘とは違うだろ
う。「やっと今になつて一坪地主になつた事
感が湧いてきた」防衛施設局員と對した後
の感想である。多くの一坪地主が喜びや誇り
をもつて施設局員の背後にいる國家や安保と
對決している。自らの生活の場に迎え撃つて
敵を翻弄してやるという余裕をもつて。まる
でゲリラのように。一坪反戦地主は自ら非國
民宣言を國家に對してする者達である、とは
呼びかけ人の言葉だつた。しかし、斗いが最
終局面を迎えてみると、どうも一坪反戦地主
とはもつとすごい存在じゃないかと思ひ始め
た。それを表現するとすればゲリラの頭に反
戦とか反基地とか反安保を被せるのがいい。
沖縄に米軍基地がある限り、私達の斗いは止
まない。それどころか私達の存在そのものが
米軍基地の長期安定使用という安保の要請を
脅かし続けているし、その脅威は、今後、一
坪地主運動の無限の拡がりの中で益々増大し
ていくのである。

四月四日、チームスピリット八七のむすづをはつて、「ピーススピリット八七」の集会を開いた。花見と重なつたりして、参加者は三十名ちよつとだつたが、岩国、呉で反基地の闘いをつづけている岩国市職労平和問題研究会の田村さん、トマホークの配備を許すない市民の会の湯浅さんから、チームスピリットと岩国基地、呉の米軍弾薬庫の動きなどの報告をうけた。その後、在日韓国青年同盟広島県本部の朴さんから韓国における民主化闘争についての報告。主催は全斗煥来日、天皇との会見に反対することをきりかけにできた「日韓新時代を撃つ！」広島実行委員会。

1月13日に着陸に失敗して右翼を折り、火災を起こしたC141スター・リフター。いまだに滑走路の端に放置されている。(岩国)



敵の弱点がはっきり見えたのである。この終了間際、敵が焦って出てくる所へ、その弱点を狙ってカウンターを撃ちこめば第一ラウンドで勝つ可能性もあると断言できる。

かつて、「法的空白の四日間」という無法状態が生み出されたことがある。一九七七年の五月十四日、沖縄公用地法の期限切れが四日間成立しなかつたのである。それから十年後の今日、国会における斗いではなく、私達

つてそれが可能なのだ。

明日（四月十四日）からは、県収用委員会の裁決書を受取らなかつた一坪地主の所へ施設局員がやつてくる。向こう一ヵ月の攻防戦の始まりだ。やさしい顔をした安保の実態を暴き出し、安保に風穴をあけてやろう。明日我が家にも安保がやつてくる。

一人一人の創意工夫をこらした斗い如何によ

今、被壁等の如きは、

機
關
誌

季刊ビースバスの
発行によせて

昨年八月に発足した「ビースペース長崎」は、この三月、機関誌（季刊）を創刊した。この名もすばり「季刊ビースバス」。創刊号から一発刊によせて、そのまま掲載

機関誌発行の目的

舟 越 叱
「ビースバス」の原型
とを期待しています。

この二月一日、突然米の軍艦が長崎に入港してきました。事務局では緊急に集まつてどう取組むかといで、女たちもいっしょでした。この型こそ「ビースバス」の原型ではないでしょうか。

市長選挙立候補予定者四人に平和問題に関する公開質問を行いました。井核都市宣言、兵器生産、情報公開制度等の問題について立候補予定者の見解をしっかりと詰めておくこと、そして私達の見解をしっかりと伝え、これから先いつも気にかけてもらうこと、そのへんに狙いがありました。

は一月末、市長選立候補予定者四人に對して公開質問状を送り反響を呼んだ。質問項目は①「非核都市宣言」採択の意志 ②長崎の兵器生産についての見解 ③情報公開制度制定への姿勢。保守系の一人を除いて三人から回答を得た。

その時々に明らかにしていくこと

現実あるいはボンネのところなどを

都市長崎も聖域ではなく

天気の良い日に、弁当をもって、子どもづれ家族づれで、被爆地長

同事務局まで

1. *Leucosia* *leucosia* (L.) *leucosia* (L.)

卷之三

新風開する軍艦の核事故問題
——もうひとつチエルノブイリ

つある。それぞれの国で直接的なきっかけはさまざまであるが、日本における核艦船寄港反対運動が参考にするべきことがらが沢山ふくまれている。

あるが、上記のニューヨークとサンフランシスコのトマホーク艦母港化に関連して詳細な「場所特定分析」が登場した。ニューヨークに関しては、M・カク博士の研究（一九八五年、非核県民連絡会議の「非核自治体ニューヨーク」）によれば、トマホーク艦母港化は、

めざす大増強計画の中で、海軍は水上艦の母港を分散させる『戦略的母港化計画』を採用した（一九八二年十月）。これは、デタント時代に母港を集中させたる年代の方針を百八十度転換したものであつた。『戦略的母港化計画』は当然、トマホーク艦、とりわけ復讐艦の母港をどこに定めるかというホットな

ス」第四号に抄訳あり)、S・A・サハイダチニイの論説(一九八五年、「世界政治」)、七三一～七三四に訳あり)が行われているが特に注目するべきはサンフランシスコに関するW・ジャクソン・ディビス博士の定量的な場所特定分析(一九八六年)が登場したことである。

スター・テン島への戦艦アイオワ水上打撃団の母港化計画、サンフランシスコ市のハンター・ズ・ポイントへの戦艦ミズーリ水上打撃団の母港化計画は、人口密集都市近郊で核事故が発生したらどうなるか、という当然の疑問を提出した。海軍の核事故については、一九八三年のD・E・カブランの研究以来、本誌を号（一八六年十月）に紹介したD・ヘイズらノ

ド国会で審議中の非核法案に関して、政府が國民から意見を聴取する過程で、海軍の核事故に対する問題提起がなされた。「核兵器反対科学者連合（S A N A）」のP・ウィルスが、アメリカの情報公開法で資料を得ながら核兵器事故および原子力推進艦の安全性について詳しい考察を行なつてゐる。（一九八六年）。

へのアメリカの軍艦の寄港とニュージーランド政府の核艦船拒否政策の影響を受けて、オーストラリアでは、二・三年の間に軍艦寄港反対運動が急成長している。その中で、寄港反対の論理として核事故問題がクローズアップした。国会での論戦も活発である。R・ボルト（ヴィクトリアPND）の上院への申立て（一九八六年）、先に述べたジャクソン・ディビスによるシドニーとフリーマントル（パース近接の港）への定量的場所特定分析の研究（一九八六年）などが行なわれている。カナダ ナヌース湾にあるカナダ海洋実験試験海域（CFMETR）の米軍使用契約の更新（一九八六年）をめぐる論戦と軍艦寄港反対運動の成長の中で港における核事故がクローズアップされた。P・ウィリスによるレビュー（一九八六年）、P・ブラウンとB・ロビンソンによる小冊子（一九八六年）などが出されている。

サンフランシスコ湾のトマホーク

ジャクソン・ディビスのサンフランシス「
湾における核事故についての定量的場所特定
分析について、やや詳しく紹介しよう。
ジャクソン・ディビスは核廃棄物の海洋投

棄に反対する太平洋民衆と一体となつて活躍してきた行動的な生物学者であり、その分野の人達に最大限の信頼をえている学者である。日本政府おかかえの専門家たちにとつては誠に厄介な存在でもある。

ジャクソン・ディビスは、人口密集都市近辺の港における核事故としていくつかの場合を考察している。

a. 艦船搭載の核兵器の火災

b. 原子力推進艦の原子炉事故

c. 使用済み核燃料を積んだ船の火災

サンフランシスコ湾については、戦艦ミズーリを中心とする水上打撃団の母港化計画に関係のあるaとりの定量的分析を行なつてい

a. 核兵器の火災

しばしば、メガトン級の水爆が爆発したら、といったシナリオが語られるが、ここで想定されている事故は極めて平凡なものである。にもかかわらず結果は大へん恐ろしい。

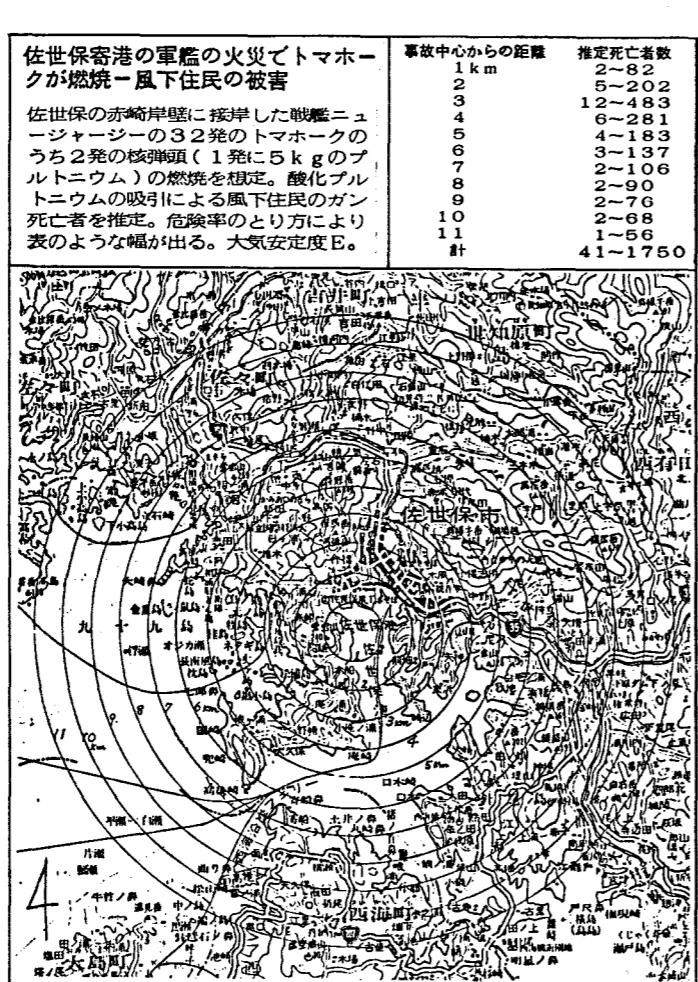
サンフランシスコ湾の予定されている海軍施設に停泊中の戦艦ミズーリに火災が発生し、搭載されているトマホークの核弾頭二基が灰になると。そして約十キログラムのブルトニウム二三九（六二三キユーリー）が酸化ブルトニウムの微粒子の煙となつて七時間空中に放出されるとする。放射能の煙は雲状の

サンフランシスコ湾の原子力艦

b. 原子炉のメルトダウン

原子力推進艦の原子炉事故についても、ジャクソン・ディビスは極めて控え目な仮説の下に、国の原子力規制委員会が確立している方法を用いて被害の量的計算を行なつた。原子力空母エンタープライズが熱出力二百三十九、百メガワットの原子炉八基を積んでいることから、百メガワット（チャエルノブイリの約三分の一）の炉心溶融を仮定し、炉心の放射性物質が放出される割合は、チャエルノブイリの場合よりも小さく仮定した。事故の結果のエッセンス部分を要約すると

『事故現場の風下における個々の放射性原子核の大気中濃度は、国の原子力規制委員会



会計報告 '86/12/11~'87/3/14	
収入	支出
1/10×5リットル箱販金 136,922	1.2月旅費 90,000
会計 176,000	電話 (1月) 5,630
内訳	郵送 122,190
維持団体 62,000	印刷 3,000
維持個人 23,000	文具 18,015
参加団体 22,000	会場費 4,300
参加個人 28,000	手数料 2,340
通信会員 41,000	その他 21,620
カジノ 56,000	翌月の総額 101,827
計 4368,922	計 4368,922
いつも送金ありがとうございます。 引き続きよろしくお願いします。 (会計担当 水野)	ありがとうございます。

* 定価	* 編集	月刊反トマホーク通信
100円 (通信会員年間2000円)	発行	トマホークの配備を許すな全国運動
		(東京都渋谷区渋谷二丁目十九番 青山五〇一 トマホーク 03(498)6095
		TEL 03-252-762-5118

コモンデイト 5・31

—87ヨコスカ
国際週末共同行動

[核艦船のとめ方]

青空ティーチインと
ピースウォーキング
<上灘谷 → 売須賀>

5/29(金) pm1:30
細谷戸公園集合(相模線「渋谷駅」北口: から細谷戸第三ゆきバス10分、終点下車すぐ)

5/30(土) am10:00
戸塚駅東口出発

5/30(土) pm1:00
JR港南台駅出発

ここがねらいめ

5/31(日) am10:00
逗子市役所前出発(京浜急行およびJR「逗子駅」からすぐ)

5/31 [日]
•ヨコスカ版渋谷
•pm 1:30~

発言・出店・実験・展示・その他モード

◎ヨコスカ月例一万人デモ◎非核コードと反核ホットライン◎核艦船差し止め訴訟◎これが平和船団だ◎もう一つのチャルノブイリ◎芝居/神奈川県VS外務省◎呉・佐世保・依佐美・えびのの仲間から◎アジア太平洋から、などなどを材料にして、さて私たちは今何ができるかを/青空の下で(たべ物屋も出る)

16:30よりヨコスカ月例デモ、こちらにもぜひ参加を!

連絡先 トマホーク社 03(498)6095
非核市民宣言運動ヨコスカ 0468(25)0157
上灘谷基地はいらないウドの会 045(363)1111
内-425

(ピース・ウォーキングについての問合わせはウドの会へ)

海の軍備撤廃をめざす国際ウークエンド

「なげ! お出せ! 依佐美基地
5・31集会」

PM 1:00 ~ 渋谷市労働会館にて

よびかけ: 「核も安保もいらない! あいち反核会」
TEL 052-762-5118